

糸魚川駅北地区 都市再生整備計画事業と評価の概要

1 計画目標

【大目標】復興からの糸魚川駅北地区のにぎわいづくり	目標を定量化する指標	従前値 H29	目標値 R3	評価値 R3
目標1:回遊性を高めることによりまちなか全体を歩いて楽しめるにぎわいの創出を目指す	まちなか歩行者数 (本町通り) 単位:人/日	240	481	122
目標2:市内外からの誘客を図るため、既存施設の拡充や、にぎわいを創出する広場など施設の整備を図る	ジオパル来館者数 単位:千人/年	280	332	285
目標3:若者や子供世代が訪れたいくなるような施設整備と運営企画を目指し、ヒトづくりとマチづくりの「交流の場づくり」を図る	まちづくり団体による地域活性化活動への参加者数 単位:人/年	270	560	622

1 案内看板の設置

4 まちなか駐車場

5 花いっぱい推進事業

6 にぎわい創出人材育成事業

2 駅北広場キターレ

3 トワイライトエクスプレス車両の再現及びSLくろひめ号の設置



2 実施事業

1 案内看板の設置

○事業費:33.5百万円

○整備概要:誘導サイン 19 基、解説サイン 15 基、案内看板 9 基
新たに整備した市民公園や遊歩道などを利用して、気軽にまち歩きができるように誘導サイン、解説サイン等の案内看板を設置。

加賀街道などのまちの歴史や大型防火水槽などの大火の記録を記した解説板を設置することで、来街者のほか、市内小学生がまち歩きの総合学習や防災学習としても活用されています。



解説サイン



児童防災学習（まち歩き）

2 駅北広場キターレの整備

○供用開始:令和2年4月（指定管理者制度）

○事業費:382.2百万円

○基本方針

- ・誰もが気軽に集える憩いの場として利用しやすい施設環境づくり
- ・大火の記憶を伝承できる環境づくり
- ・市民が主体となるまちづくり活動の推進に向けた支援

施設運営者によるマルシェやこどもイベントのほか、地元野菜の販売などの市民の皆さんによる新たな活動も生まれている。

夕方には、勉強する学生の姿もあり、これまでに見られなかった世代の人たちが見られるようになったとの声もいただいている。また併設するシェアキッチンも、昨年度延べ47件の利用があり、これまでに2名が自身の店を開業しています。



キターレマーケット



地元野菜の販売会（西海地区）



放課後に勉強する高校生



シェアキッチンでの営業



児童の防災学習（大火の記録）



まちなか健康運動教室

2 実施事業

3 トワイライトエクスプレス車両の再現及びSLくろひめ号の設置

○供用開始:令和2年10月

○事業費:84.2百万円

○整備概要

糸魚川ジオステーションジオパルの更なる魅力向上により集客力を高めるため、トワイライトエクスプレスの実際の車両で使用していた備品と糸魚川産の杉を使用して忠実に再現された車両の展示と、市内の工場で活躍したSLくろひめ号を展示。

トワイライトエクスプレスでは車両内で市内飲食店の食事を提供するなど、施設を活用した新たな取り組みも行っています。



再現車両公開イベント

食堂車ダイナープレヤデス

4 まちなか駐車場の整備

○供用開始:平成30年8月

○事業費:52.4百万円

○整備概要:駐車台数28台

利便性向上により駅北エリアへの集客を促すため整備。

駅北広場キターレを利用する際の駐車場として利用いただくほか、商店街への買い物や駅北エリアでのイベント開催時に利用いただいています。



本町通り側から

駐車場内（本町通り側から）

2 実施事業

5 花いっぱい推進事業

○実 施:平成31年度から3年間

○事業費:0.6百万円

○整備概要:

市民の皆さんが花植え活動に参加することで、駅北エリアの住民同士の交流を図るとともに、まちづくり活動に関わるきっかけとなることを目的に実施。

令和3年度は、新七地区の皆さんと実施予定。



平成31年度：大町区の皆さん



令和2年度：緑町区の皆さん

6 にぎわい創出人材育成事業

○事業費:30.0百万円

○事業概要

主体的に活動し、まちづくりを担う人材の発掘と育成を目的に、まちづくりシンポジウムや実際の空き店舗の再生を通じて新たな事業を検討するリノベーションスクールを開催。また市民の皆さんから参加いただき、駅北地区の新たなまちづくりに向けて駅北復興まちづくり市民会議、駅北まちづくり会議を開催し、駅北まちづくり戦略を策定しました。

- ・平成30年度：シンポジウム3回4会場（延べ240人）
リノベーションスクール（24人）
駅北復興まちづくり市民会議（7回）
- ・令和元年度：シンポジウム2回（延べ80人）
リノベーションスクール（16人）
駅北まちづくり会議（延べ17回）
- ・令和2年度：駅北まちづくり会議（延べ12回）
駅北まちづくり戦略の策定



まちづくりシンポジウム



リノベーションスクール



駅北復興まちづくり市民会議

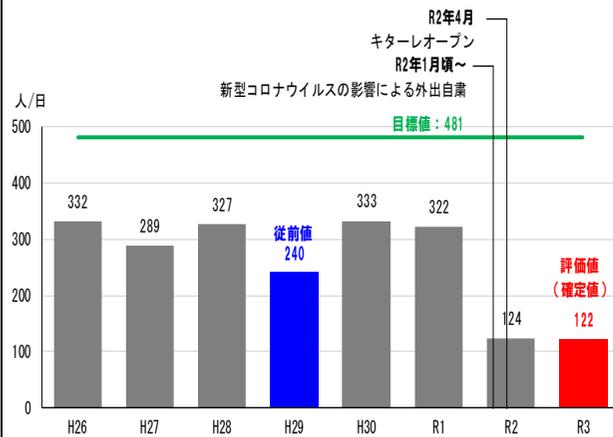


駅北まちづくり市民会議（実践会議）

3 目標の達成状況

【指標1】 まちなか歩行者数

来街者がまちなかを歩いて楽しめるまちづくりを目指し、本町通りの歩行者数を指標とする



データ計測方法

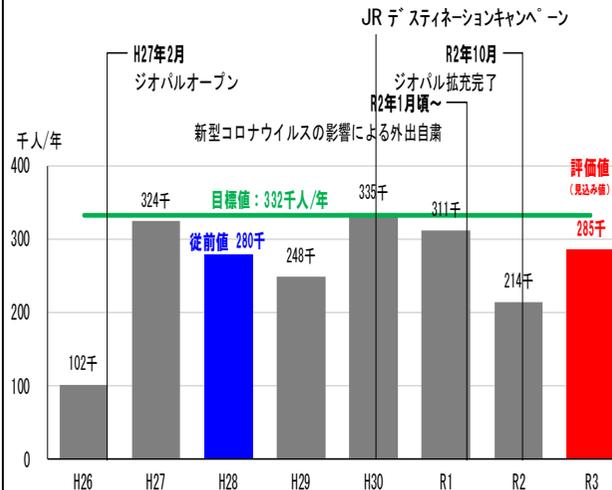
本町通り (糸魚川信用組合本町支店前) における平日 8 時～22 時の歩行者数を計測し、評価値 (確定値) とする。

要因の整理

新型コロナウイルスの感染流行に伴う外出自粛の影響とともに、令和元年夏以降道路工事が始まったことで、本町通りの歩行者数に影響を与えたものと考えられる。

【指標2】 ジオパル来館者数

誘客を強化しまちなかへの回遊者の増加を図るため、来館者数を指標とする



データ計測方法

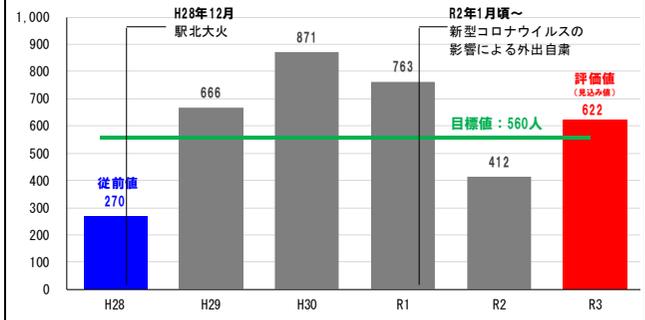
令和3年4～11月の実績値及び新型コロナウイルスの影響を受けていない平成28～30年度の過去3年間の傾向から、年間来館者数を算出し、評価値 (見込みの値) とする。

要因の整理

施設機能の拡充により、11月までの実績値はH29年度を上回るまでに回復しているが、新型コロナウイルスの感染流行に伴う外出自粛の影響により目標を満たすに至っていない。

【指標3】 まちづくり団体による地域活性化活動への参加者数

まちづくり団体が活動しやすい環境を整備することで、民間主体によるにぎわいを図るため、参加者数を指標とする



データ計測方法

令和3年度にまちづくり団体が行った地域活性化活動への参加者数を確認し、評価値 (見込みの値) とする。

要因の整理

大火をきっかけとした自治活動の活性化とともに、まちづくりシンポジウムの開催やまちづくり戦略の策定を通じてまちづくり活動に対する機運が高まり、活動への参加者が増加している。

4 当初の数値目標以外の指標による効果の計測

その他の指標	数値	本指標を取り上げる理由
駅北広場キターレ 来館者数	令和3年度見込値 14,810人	<ul style="list-style-type: none"> ・利用許可・飲食利用・イベント等・相談打合・視察の4月から11月までの合計実績値と昨年度の傾向から見込みの値を算出 ※令和2年度実績14,694人 ・キターレを活動の場として市民等の新たな活動が生まれ、あわせてそのイベント等への参加者も増加しており、指標1・3を補完するものとして取り上げる
トワイライトエクスプレス 入込人数 (※土日祝のみ集計)	令和3年度見込値 14,900人	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から11月までの実績値と昨年度の傾向から見込みの値を算出 ・トワイライトエクスプレス再現車両の展示により、市内外からの誘客が図られており、指標2を補完するものとして取り上げる
創業件数 (駅北地区内)	5ヶ年間の実績値 12件	<ul style="list-style-type: none"> ・計画期間(平成29年度から令和3年度まで)の実績値 ※計画前(平成24年度から平成28年度まで)の実績値/3件 ・地区内の創業件数の増加は、駅北地区のまちの活性化の状況を表すと考えられるため、指標1を補完するものとして取り上げる

5 今後のまちづくり方策

まちの課題の変化

- ・案内看板の設置により、散策しながらまちを楽しむ仕掛けが生まれ、小学生の学習や来街者のまち歩きを促進することができた一方で、まちなかの歩行者数はまだ増加には至っておらず、引き続きまちの活気や人の流れを促進していく必要がある。
- ・駅北広場キターレの開設により、市民等の新たな活動が生まれるとともにイベント等に参加する来街者が増えている。また、各種イベントや高齢者を中心とした健康運動教室の開催、高校生が学習する様子などから、これまでに見られなかった世代の人たちがまちに見られるようになったとの声もいただいている。
- ・大火をきっかけとした自治活動の活性化とともに、まちづくりシンポジウムの開催や駅北まちづくり戦略の策定を通じてまちづくり活動に対する機運が高まり、市民が主体となった取り組みが増加している中で、まちなかの人口減少と高齢化の進展に少しでも歯止めをかけていくためにも、各活動の広がりや推進と子育て世代や高齢者など多様な世代の更なる交流を図る必要がある。

今後のまちづくり方策

- ・新たに整備した案内看板や市民公園・遊歩道など施設を生かして、小学生の防災（まち歩き）学習や来街者のまち歩きを引き続き促進していくほか、まちづくり活動の持続・活性化及びジオパルスステーションから駅北地区への誘導を推進する。
- ・新しくできた駅北広場キターレなどの公共的な空間の利用促進をさらに推進する。
- ・駅北まちづくり戦略の推進により、まちづくりを担う人材の発掘と育成、また、より活動しやすい環境を行政が整え、公民連携の取り組みを推進するほか、高齢者から若者・子育て世代まで多様な世代が交流する機会の増加を図る。